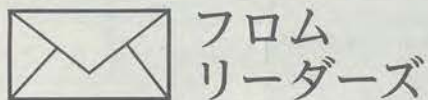




From Readers



読者からの感想やお便りをご紹介します。

30年ぶりのてんぷら坂

日本そばを食べに行こうと出掛け、店の開店を待ちがてらてんぷら坂周辺を散策しました。この辺りを歩くのは、おばあに手を引かれて買い物に来た子ども時代以来で、その変貌ぶりにびっくり。天ぷら坂にはおしゃれな飲食店もできていて、振り返れば大きなホテルがそびえています。でも、昔の民家や古びたアパート、井戸など昭和の面影も残っていて、タイムスリップしたような感覚になりました。

(豊見城市・女性・40代・匿名希望)



編)再開発などで昔の街並みが消えつつありますが、こうやって残っている場所を、昔の記憶と照らし合わせながら歩くのは楽しいですね。

年中行事に目からウロコ

いつも楽しく拝読しています。9月11日号の「琉球・沖縄 年中行事Q&A」を読んで、初めて知る情報に目を丸くしました。重箱のウチヘイジ

の作法。私も今まで何も考えず交換していました。私は末っ子長男嫁です。私の実家には仏壇がなかったので、仏壇事は嫁いで初めての経験です。義母は、年中行事や先祖供養を重んじる方で、私も40代ながら「義母の教えをしっかりと受け継がなきゃ」と日々勉強中です。ウチヘイジもちろん義母の教えどおり一緒に行っていましたが、「2、3個替えたらいいんじゃない?」とか、正直テキトーでした。780号「年中行事」の記事で帰依さんの回答を見て、初めて間違っていたやり方に気づきました。教えていただき、ありがとうございました。帰依さんの文章は本当にわかりやすく、毎回目からウロコの情報でためになります。今後もずっと続けて行ってほしいです。

(豊見城市・女性・40代・ひなまつりさん)

歳時記を暮らしに取り入れて

月末の「かふう歳時記」が好きで、切り取っています。冒頭の大きな写真の花木や野菜は、よく目にするものです。でも、いつ頃から、どのような経緯でこの島に持ち込まれたものなのか、初めて知ることが多いです。また、「旬の味・行事食」では、昔の人の知恵や、そこに込められた思いを知り、自分も作ってみたり、見直したりするきっかけにもなっています。今年も、自分を励まして豆をいっぱいまぶした「ふちゃぎ」を作り、十五夜を楽しみました。

紙面へのご感想・お便り 募集

週刊かふう編集室では、紙面へのご感想やご意見を募集しています。①郵便番号と住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤匿名希望の有無を記載の上、ご投稿ください。採用された方には図書券を贈呈します。なお、取得した個人情報は、ご本人の同意なくして目的の範囲を超えて活用することや、第三者に提供することはございません。お便りコーナーは毎月第4週の掲載です。

【あて先】〒900-0004 那覇市銘苅1-11-9 丸正新都心ビル 3F
株式会社 正広コーポレーション かふう編集室「ご感想・お便り募集 係」
FAX 098-941-8113 メール kahu@seiko-cp.jp

送付された原稿は、新聞表記に準ずる手直しをする場合があります。
採用・不採用の問い合わせや返却は致しません。本紙、およびかふうウェブに収録します。

(中城村・60代・女性・匿名希望)

編)記事についてのご感想をありがとうございます。慌ただしい日々を送っていると、つい忘れがちになりますが、季節感や生活の節目となる行事を大切に暮らしたいものです。